

# 平成28年度 燕市西蒲原郡家庭科部 活動報告

部長 栗林 一志

## 1 研究主題

実践意欲を高める家庭科指導の工夫

## 2 研究の概要

(1) 第1回部会 <期日：6月7日(火) 会場：燕市立吉田小学校 家庭科室>

### 【「食」に関わる実技研修】

「ジャガイモのみそ汁・キュウリの浅漬け・キュウリのゆかり和え・ひじきの佃煮・ひじきのふりかけ作り」

講師：燕市食生活改善推進委員協議会 加藤ヨウ子 様 他6名

(2) 第2回部会 <期日：12月2日(水) 会場：燕市立燕南小学校 家庭科室>

### 【授業研究】

単元名：「食べて元気！ごはんのみそ汁」（5年生）

授業者：燕市立燕南小学校 星野 海帆 教諭

指導者：新潟大学 高木 幸子 教授



## 3 研究の実際

### (1) 第1回部会

2回目の部会で行う研究授業に合わせて『みそ汁の作り方、ご飯に合う手軽なおかず』というテーマで調理講習会を実施。味噌汁は、煮干しでの出汁の取り方を基本から教えてもらった。おかずはどれも少ない食材で簡単にまた短時間に作ることができた。特にキュウリの和え物は火も使わず作ることができるので、授業に取り入れやすいと感じた。

子どもたちも活用できる多くの“裏技”を教えていただいた。ちょっとした工夫が『おいしい食事』や『調理の楽しみ・意欲』につながることを実感した。今後の授業で生かしていかしていきたい。



### (2) 第2回部会

#### 【授業の実際】

「家庭の味噌汁調べ」や「家庭の味噌汁の工夫アンケート」など、事前に味噌造りを体験したり、自分の家庭での味噌汁について詳しく調べたりするで、学習意欲の高まりが見られた。班で具の組み合わせについて考える活動（課題解決場面）では、味噌汁のテーマ（栄養たっぷり、旬の食材、など）を先に決めることで様々な視点から組み合わせを考える手助けになっていた。また、掲示してある栄養表やファイルに閉じてある資料などを見ながら、テーマに合うような具材を選んでいた。

#### 【指導】

家庭科は学習することで、家庭での仕事の見方や、日ごろ当たりまえに感じていること（食事や家事などについて）に対する見方を養ったり、それらの見方が変わったりする。家庭科の学習と家庭が相互に関わることが大切である。

## 4 成果と課題

今年度は、「実技研修」と「授業研究」を同じテーマで実施することが大きな成果と言える。家庭科は、学習したことがらを実生活に生かしていくことが求められる教科である。限られた時数の中で、「何をどのように教えて実践意欲を高めていくか」が課題である。